資料4

Treasureland TOHOKU JAPAN 日本東北

東北におけるインバウンド・国内旅行の状況分析

国土交通省

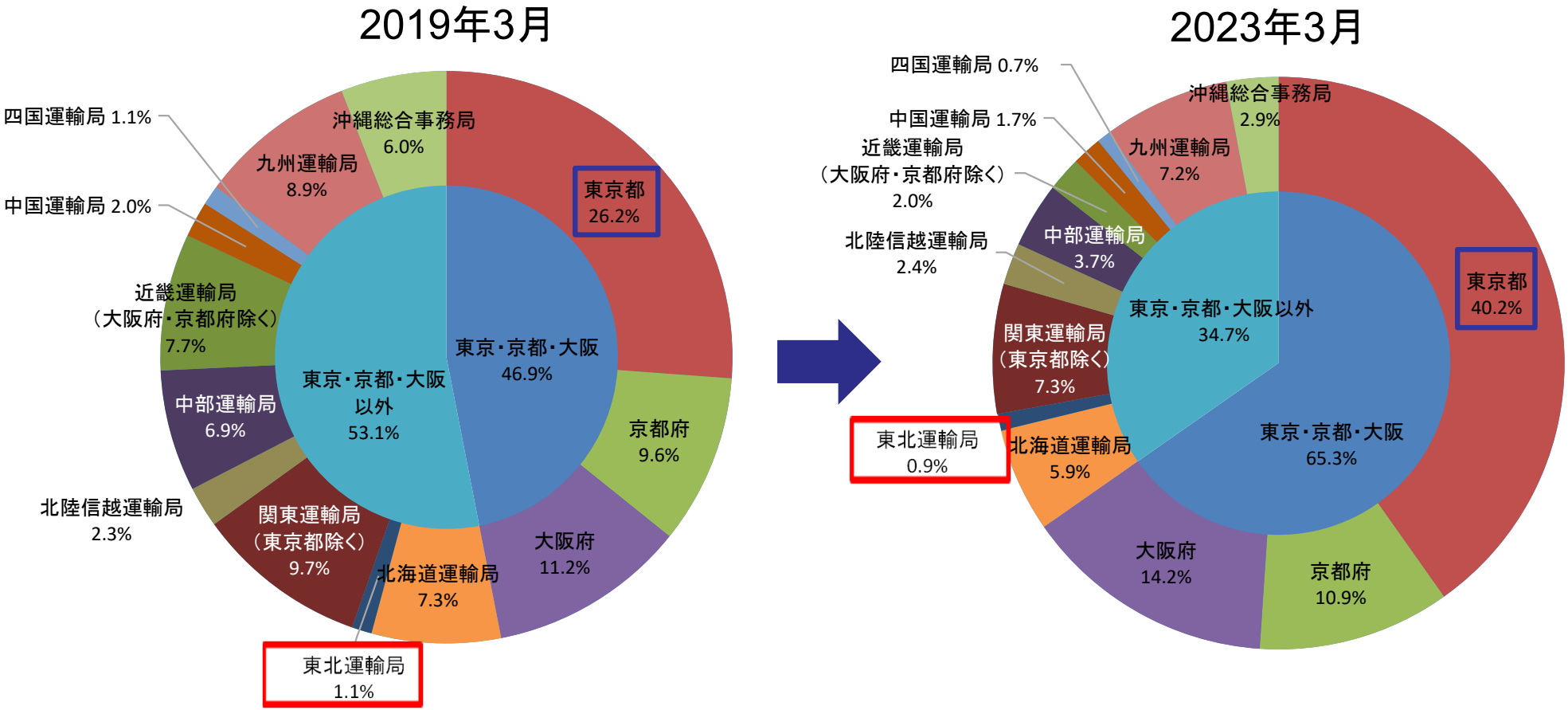
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

1. インバウンドに係る分析

2. 国内旅行に係る分析

2019年3月と2023年3月の外国人宿泊者ブロック別シェア

2019年3月と2023年3月の外国人宿泊者のブロック別シェアを比較したところ、外国人宿泊の40.2%が東京都に集中しており、2019年3月と比べるとシェアが14%増えている。一方、東北での宿泊の割合は2019年3月とほぼ変わりない。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき東北運輸局が作成

2023年3月　都道府県別外国人宿泊者数（単位:人泊）

外国人延べ宿泊者数	2023年3月	2019年3月	対2019年比
栃木県	34,570	20,890	65.49%
東京都	3,032,610	2,490,890	21.75%
徳島県	12,320	12,030	2.41%
石川県	58,020	64,000	-9.34%
長野県	89,670	105,770	-15.22%
高知県	9,090	10,750	-15.44%
大分県	99,890	118,520	-15.72%
京都府	820,640	988,880	-17.01%
山口県	9,240	11,240	-17.79%
茨城県	14,310	17,600	-18.69%
全国	7,547,120	9,515,070	-20.68%
福島県	14,350	18,520	-22.52%
青森県	9,800	12,660	-22.59%
広島県	89,700	116,320	-22.89%
福岡県	298,290	395,880	-24.65%
大阪府	1,074,960	1,449,930	-25.86%
山形県	12,790	17,390	-26.45%
神奈川県	204,500	281,910	-27.46%
群馬県	17,340	24,350	-28.79%
宮城県	21,680	31,150	-30.40%
新潟県	24,280	35,140	-30.90%
愛媛県	13,390	20,080	-33.32%
熊本県	61,430	93,210	-34.10%
福井県	3,830	5,940	-35.52%

外国人延べ宿泊者数	2023年3月	2019年3月	対2019年比
北海道	445,620	693,540	-35.75%
和歌山県	36,160	56,390	-35.88%
埼玉県	11,030	17,730	-37.79%
岡山県	22,180	38,450	-42.31%
奈良県	22,200	39,920	-44.39%
兵庫県	72,010	134,640	-46.52%
千葉県	185,050	369,460	-49.91%
秋田県	2,530	5,380	-52.97%
長崎県	36,880	81,290	-54.63%
岩手県	9,650	21,390	-54.89%
岐阜県	54,950	121,940	-54.94%
山梨県	86,450	194,610	-55.58%
愛知県	132,440	300,150	-55.88%
滋賀県	16,980	40,960	-58.54%
三重県	12,700	31,350	-59.49%
沖縄県	221,860	568,510	-60.98%
富山県	5,420	14,240	-61.94%
静岡県	73,540	194,940	-62.28%
島根県	3,040	8,320	-63.46%
鹿児島県	27,080	85,170	-68.20%
香川県	19,970	63,030	-68.32%
佐賀県	9,930	34,720	-71.40%
宮崎県	8,770	38,420	-77.17%
鳥取県	3,970	17,460	-77.26%

出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき東北運輸局が作成

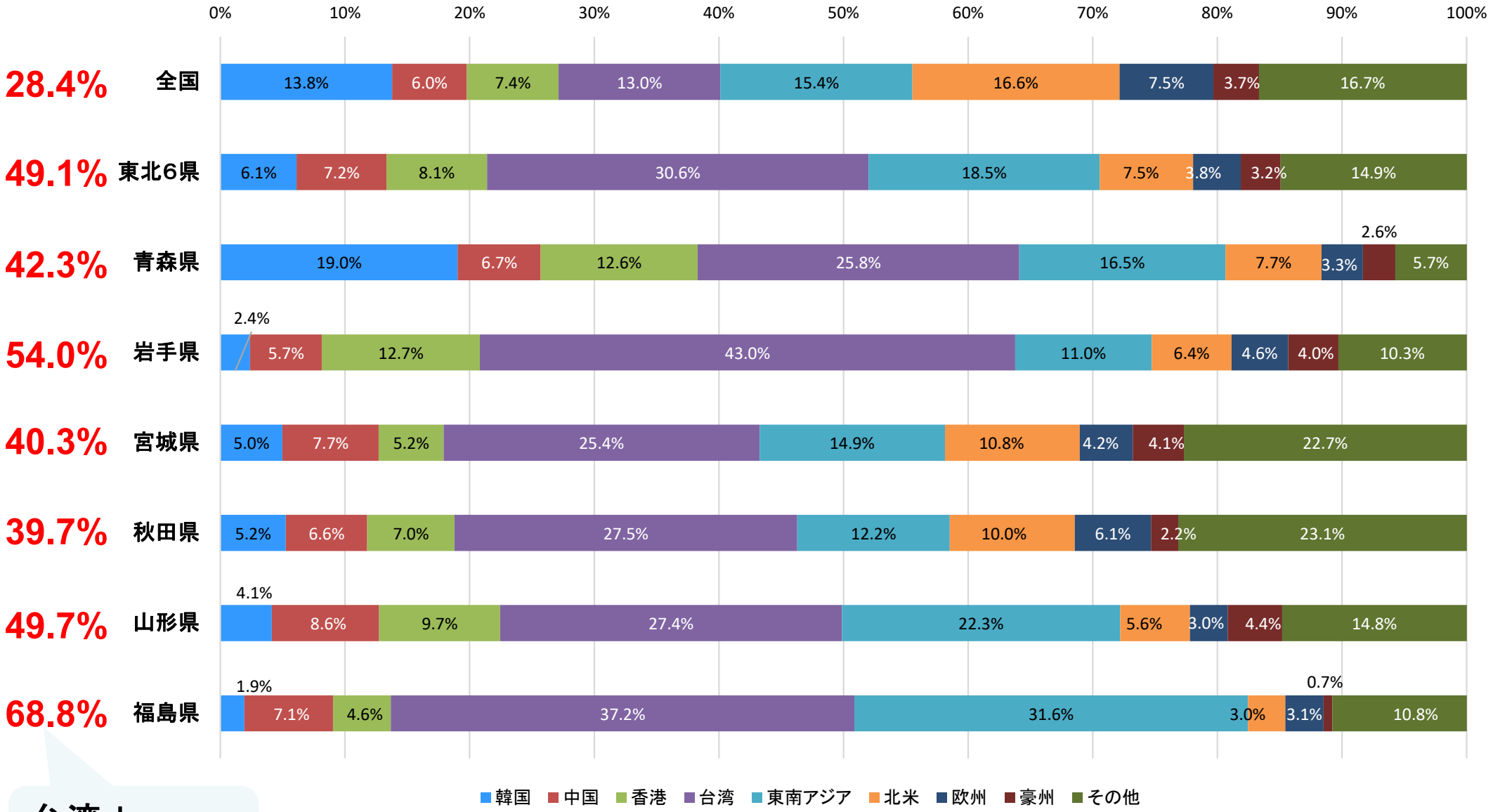
2023年1月～3月　外国人宿泊者数の推移（2019年同月比）

	2023年1月		2023年2月		2023年3月	
	外国人延べ宿泊者数（人泊）	対2019年同月比	外国人延べ宿泊者数（人泊）	対2019年同月比	外国人延べ宿泊者数（人泊）	対2019年同月比
全国	6,058,130	−34.2%	5,929,850	−36.1%	7,547,120	−20.7%
東京都	2,205,220	4.7%	2,189,530	11.6%	3,032,610	21.7%
大阪府	846,840	−40.0%	911,430	−34.3%	1,074,960	−25.9%
京都府	444,910	−39.7%	411,250	−44.7%	820,640	−17.0%
青森県	10,490	−58.7%	10,830	−66.4%	9,800	−22.6%
岩手県	12,660	−57.6%	16,120	−57.0%	9,650	−54.9%
宮城県	23,570	−40.9%	23,240	−43.9%	21,680	−30.4%
秋田県	7,380	−8.3%	5,110	−64.2%	2,530	−53.0%
山形県	23,970	−27.7%	18,460	−55.7%	12,790	−26.5%
福島県	13,800	−25.6%	19,920	−15.6%	14,350	−22.5%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき東北運輸局が作成

東北地方における外国人宿泊者数の回復状況

2023年3月　東北各県における　外国人宿泊者市場別シェア

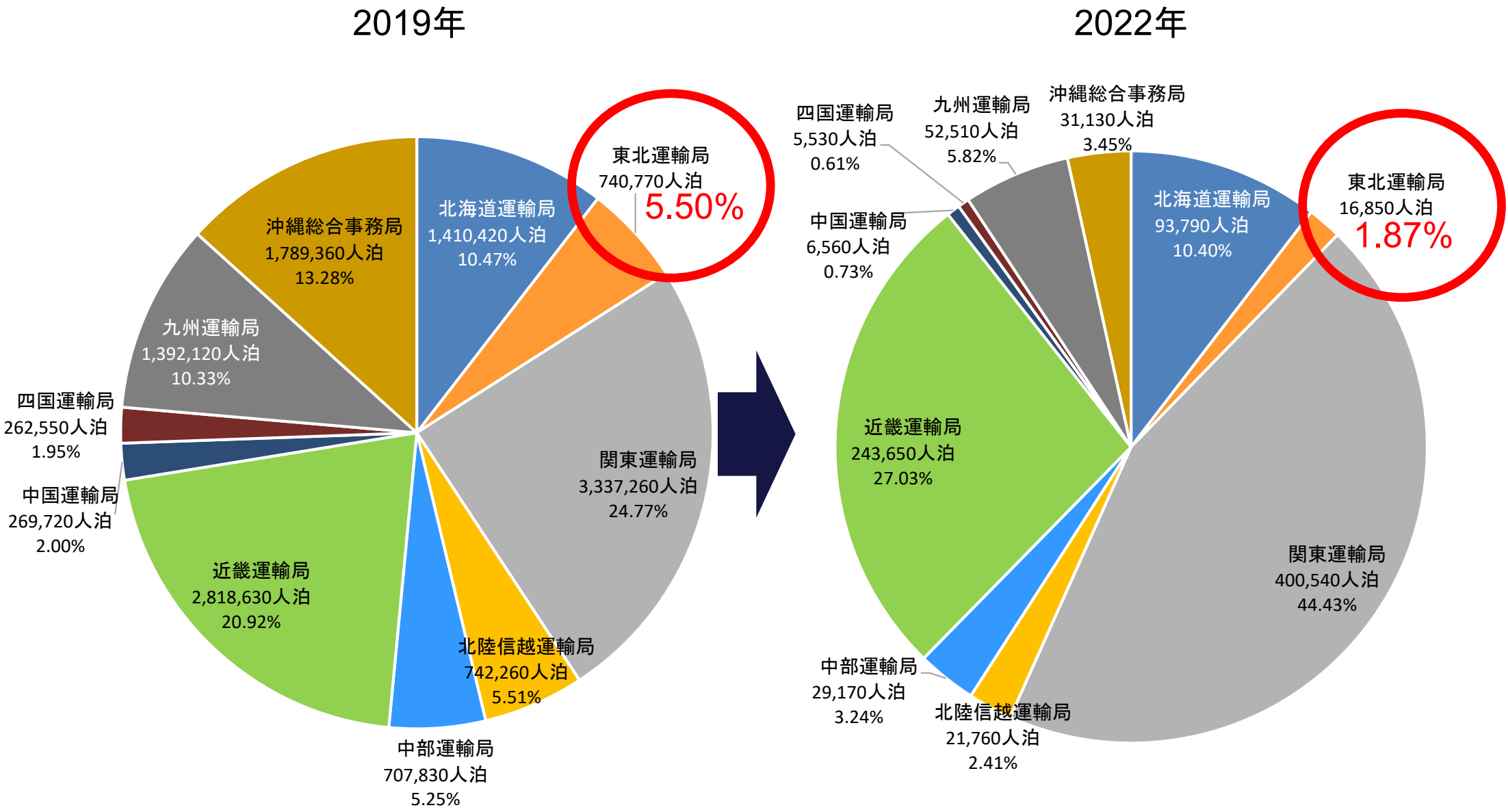


台湾＋
東南アジア

（注）東南アジア：シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピン
北米：アメリカ、カナダ　　欧州：イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、イタリア、スペイン

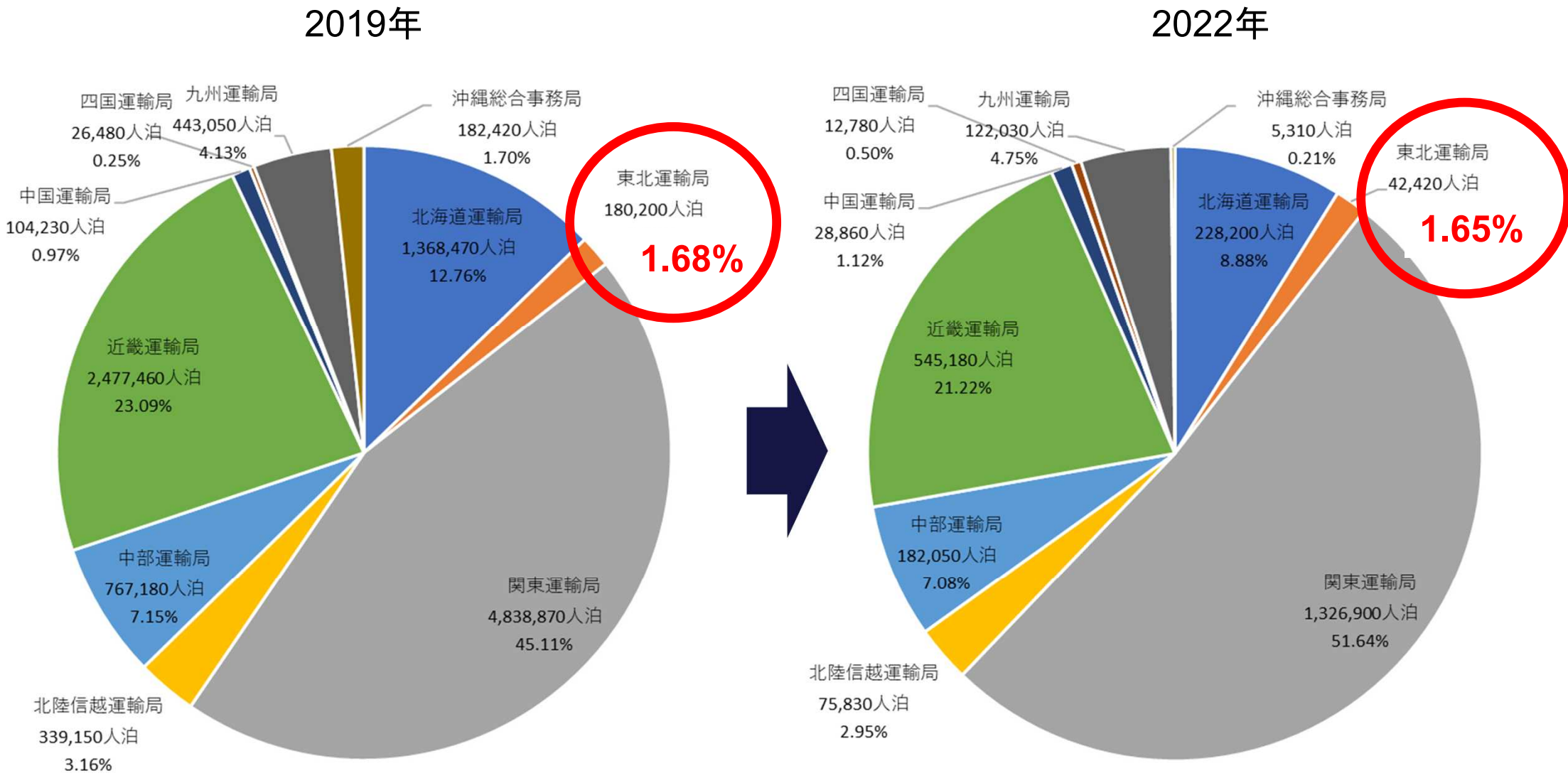
出典：宿泊旅行統計調査

台湾市場の宿泊者　地域別シェア



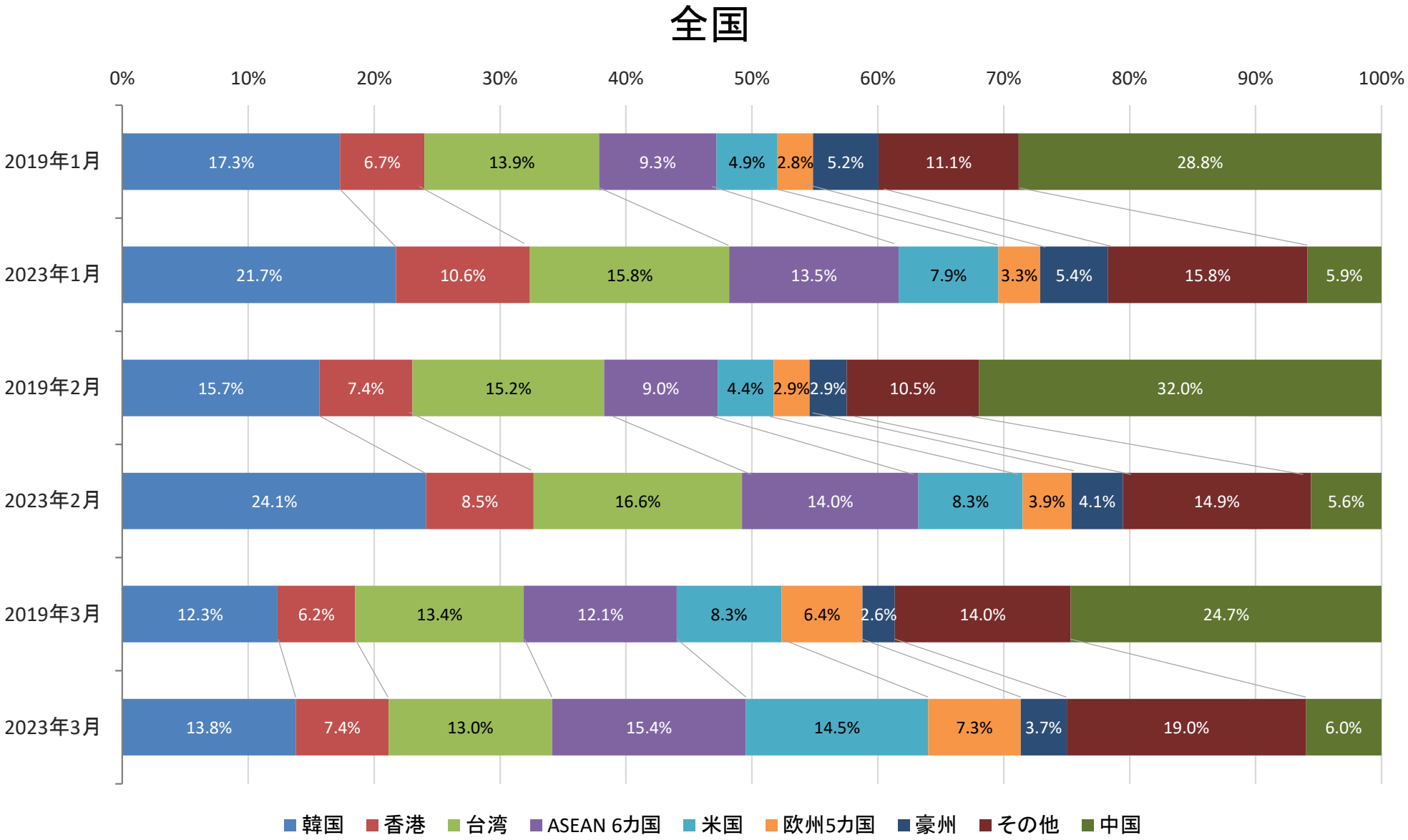
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

ASEAN市場の宿泊者　地域別シェア



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

2019年と2023年1～3月の外国人宿泊者数と地域別シェアの比較（全国）



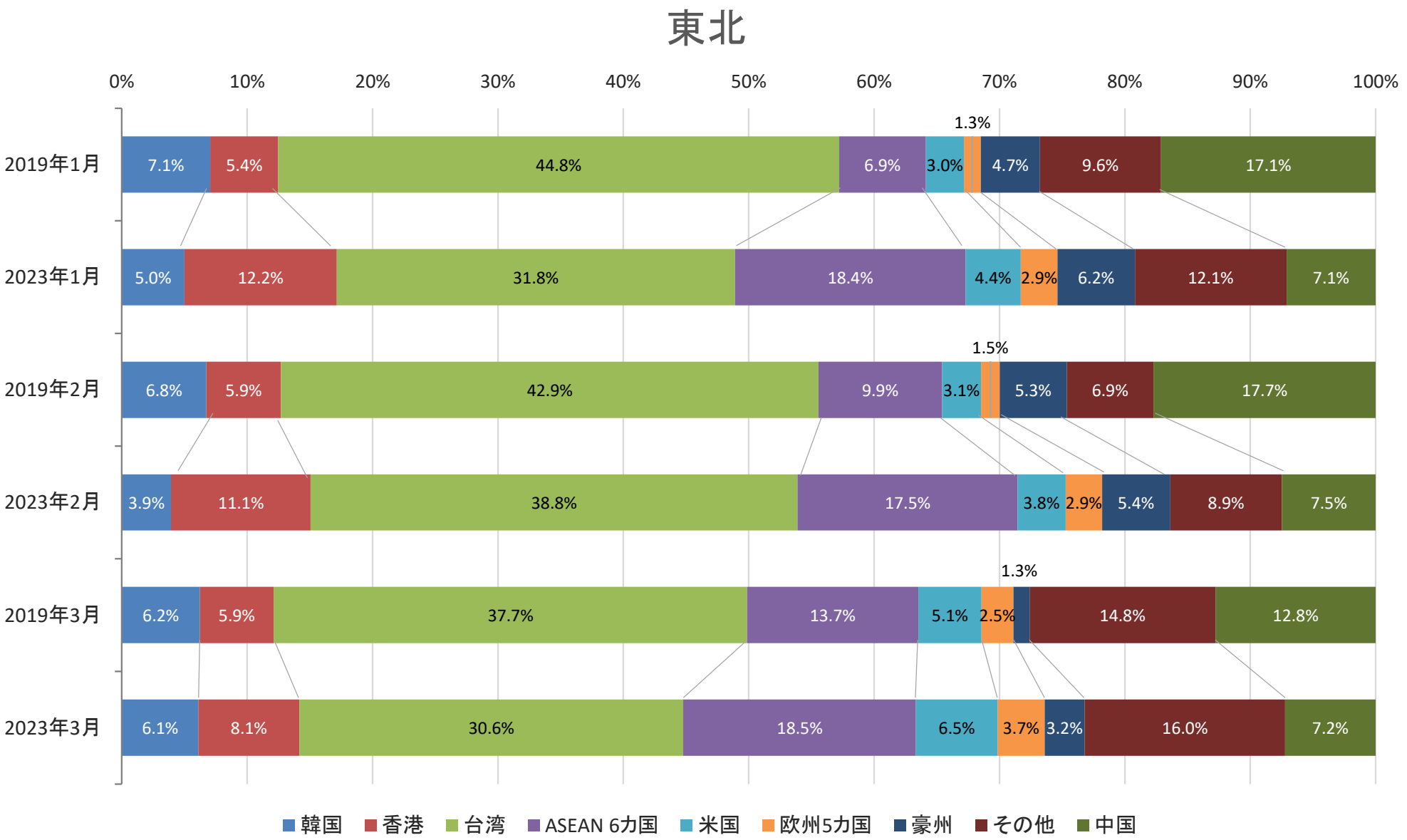
ASEAN6カ国：タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム

欧州5カ国：イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン

グラフ内数字（%）は、国籍（出陳地）別の割合

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき東北運輸局が作成

2019年と2023年1～3月の外国人宿泊者数と地域別シェアの比較（東北）



ASEAN6カ国：タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム

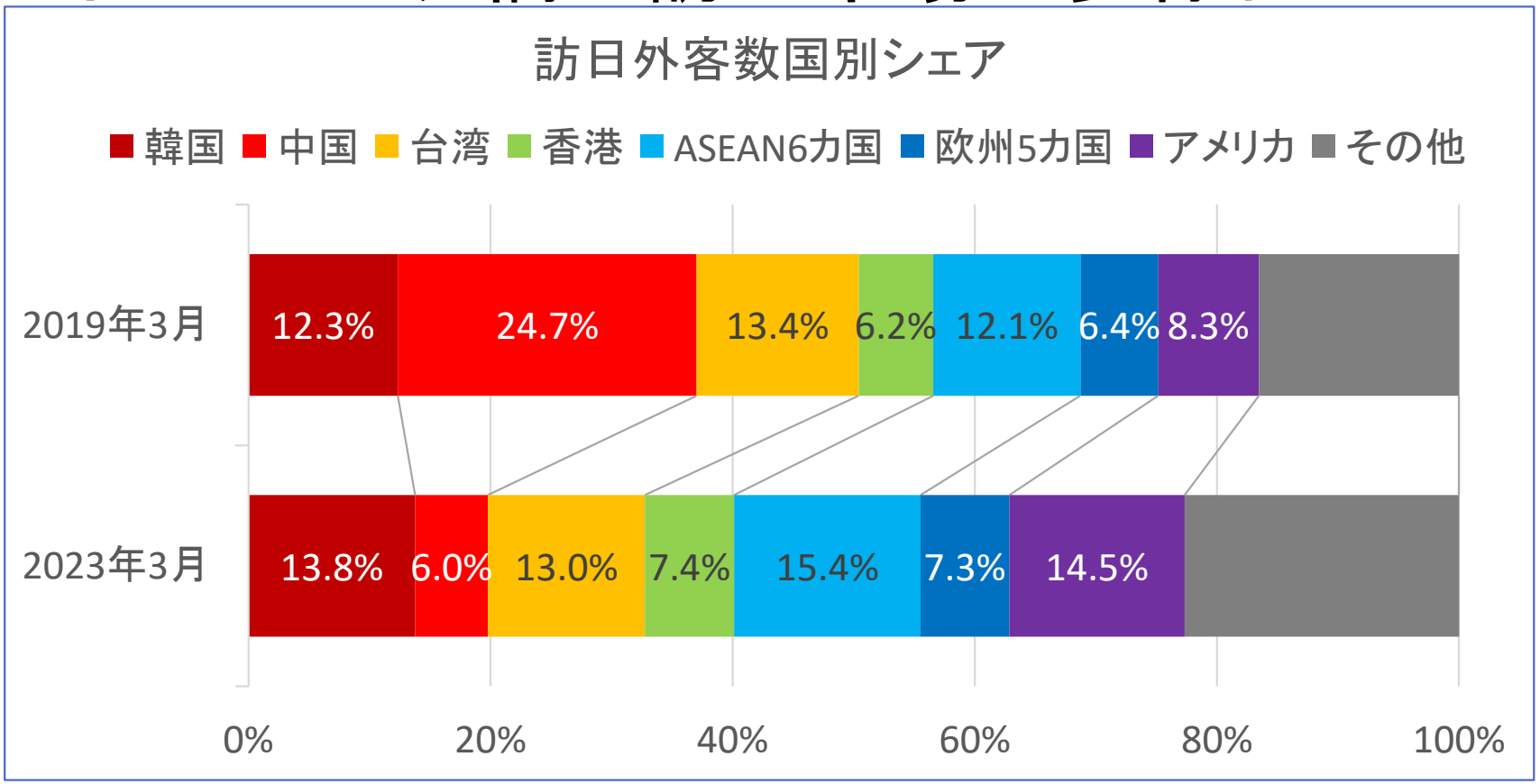
欧州5カ国：イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン

グラフ内数字（%）は、国籍（出陳地）別の割合

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき東北運輸局が作成

コロナ禍前後のインバウンドの国籍構成

- 国によってアウトバウンドの回復状況に差異。
- コロナ禍の中で旅行者の嗜好も変化。
- ポストコロナ禍の訪日市場は多様化？



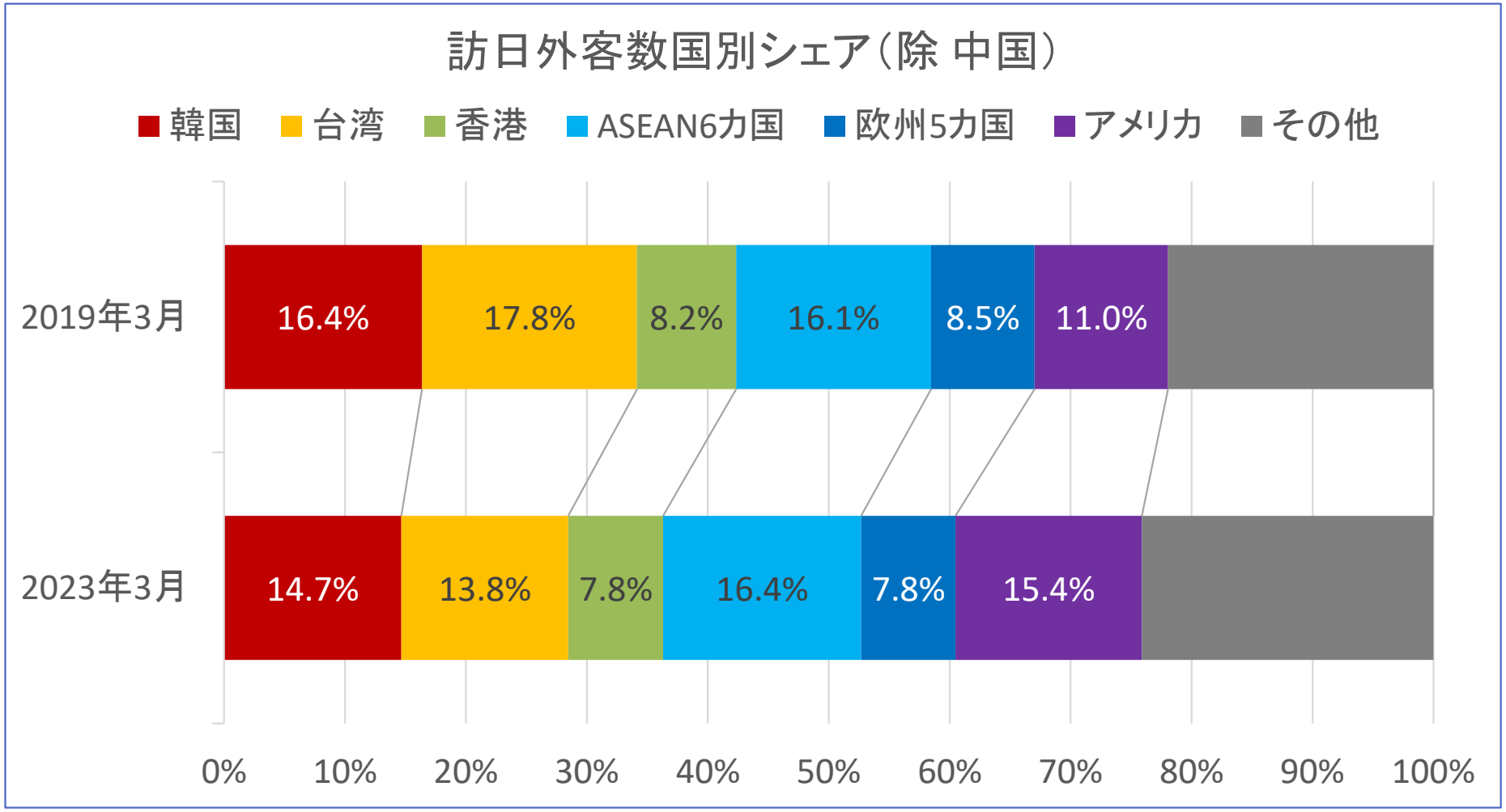
ASEAN6カ国：
タイ、
シンガポール、
マレーシア、
インドネシア、
フィリピン、
ベトナム

欧州5カ国：
イギリス、
フランス、
ドイツ、
イタリア、
スペイン

出典：日本政府観光局「訪日外客統計」に基づき東北運輸局が作成

中国を除いてみると・・・

- 米国からのシェアが拡大



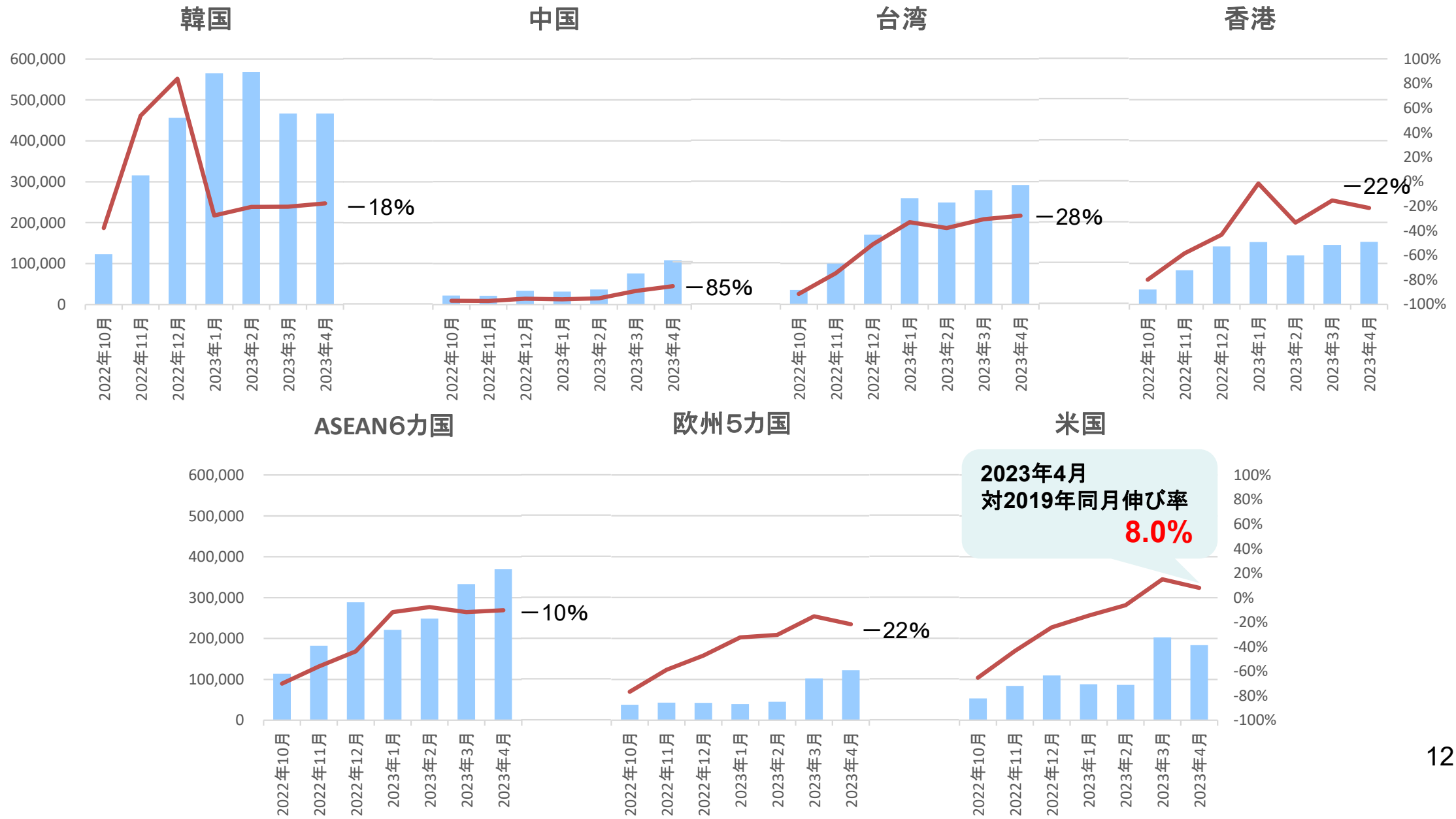
ASEAN6カ国：
タイ、
シンガポール、
マレーシア、
インドネシア、
フィリピン、
ベトナム

欧州5カ国：
イギリス、
フランス、
ドイツ、
イタリア、
スペイン

出典：日本政府観光局「訪日外客統計」に基づき東北運輸局が作成

国・地域別の「インバウンド回復率」

訪日外客の国籍別訪問者数及び2019年同月伸び率の推移

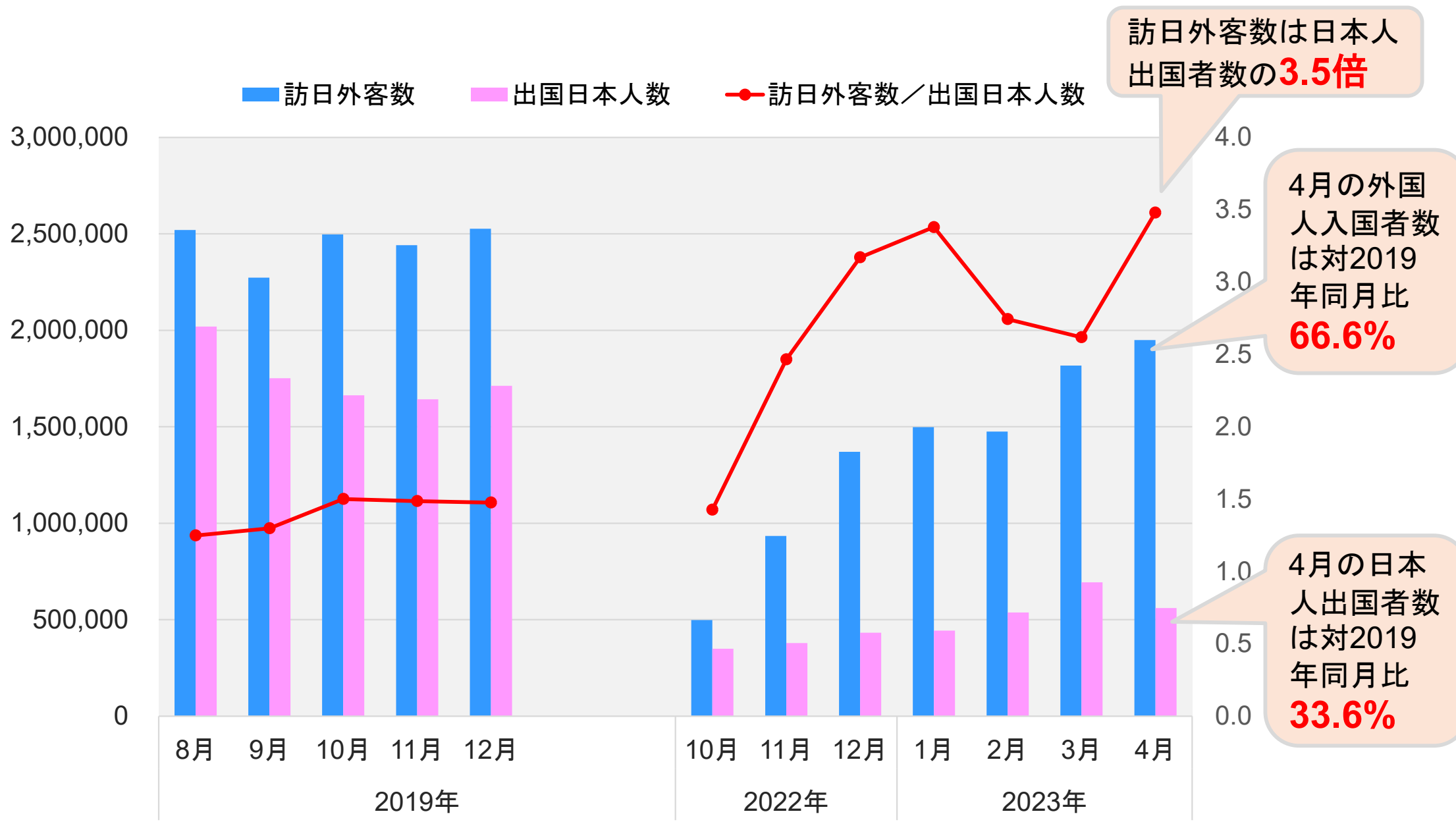


新型コロナからの出入国者数の回復状況

	2019年4月 港別出入国者総数		2023年4月 港別出入国者総数	対2019年比	外国人入国者数 対2019年比
仙台空港	**28,073人**		**19,059人**	**67.9%**	**94.5%**
成田空港	**2,762,920人**		**1,675,870人**	**60.7%**	**76.5%**
関西国際空港	**2,151,329人**		**1,123,592人**	**52.2%**	**61.7%**
新千歳空港	**272,614人**		**120,652人**	**44.3%**	**48.7%**
熊本空港	**14,150人**		**9,405人**	**66.5%**	**76.4%**

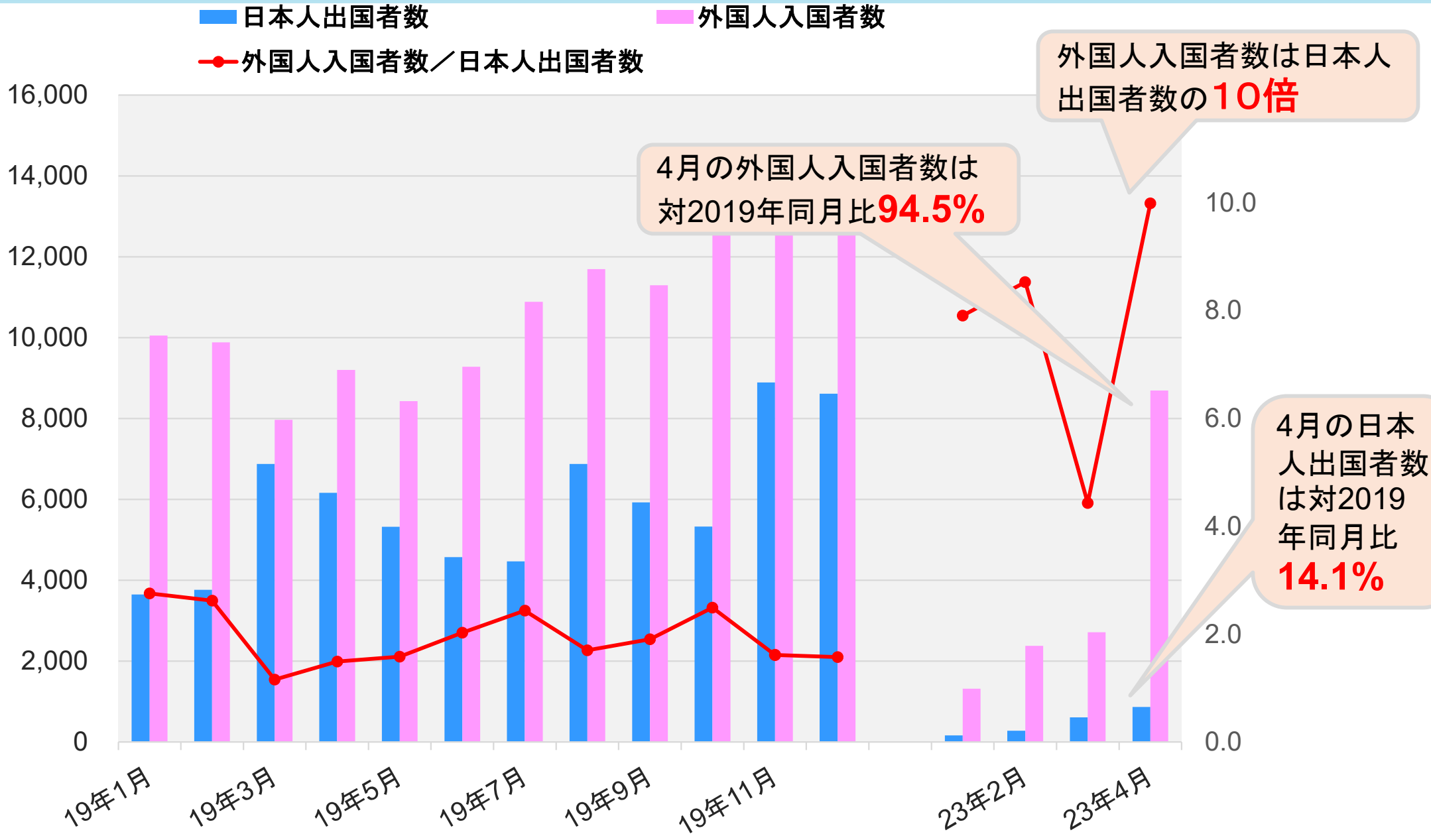
出典：法務省出入国管理統計（2019年4月は月報、2023年4月は速報値）に基づき東北運輸局作成

訪日外客数と出国日本人数



※2023年4月分は法務省資料よりJNTOが算出
出典：日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計より東北運輸局作成

仙台空港の外国人入国者数と日本人出国者数



※2023年4月分は速報値
出典：出入国在留管理庁・出入国管理統計より東北運輸局作成

1. インバウンドに係る分析

2. 国内旅行に係る分析

2023年3月宿泊旅行統計　日本人延べ宿泊者数　ブロック別及び東北各県の状況

1. 各ブロック別日本人延べ宿泊者数

	日本人延べ宿泊者数（人泊）		
		対2019年同月比	対前年同月比
北海道運輸局	2,511,930	15.0%	29.5%
東北運輸局	2,986,230	−12.4%	30.1%
関東運輸局	12,501,900	8.8%	27.0%
北陸信越運輸局※1	3,025,850	−1.2%	32.5%
中部運輸局※1	4,824,500	−1.7%	19.8%
近畿運輸局	7,002,970	7.5%	29.9%
中国運輸局	2,187,630	−0.2%	30.7%
四国運輸局	1,312,640	12.4%	45.1%
九州運輸局	4,498,090	1.2%	29.9%
沖縄総合事務局	2,279,200	0.7%	75.5%

※1　長野県は北陸信越運輸局、福井県は中部運輸局に含まれる。

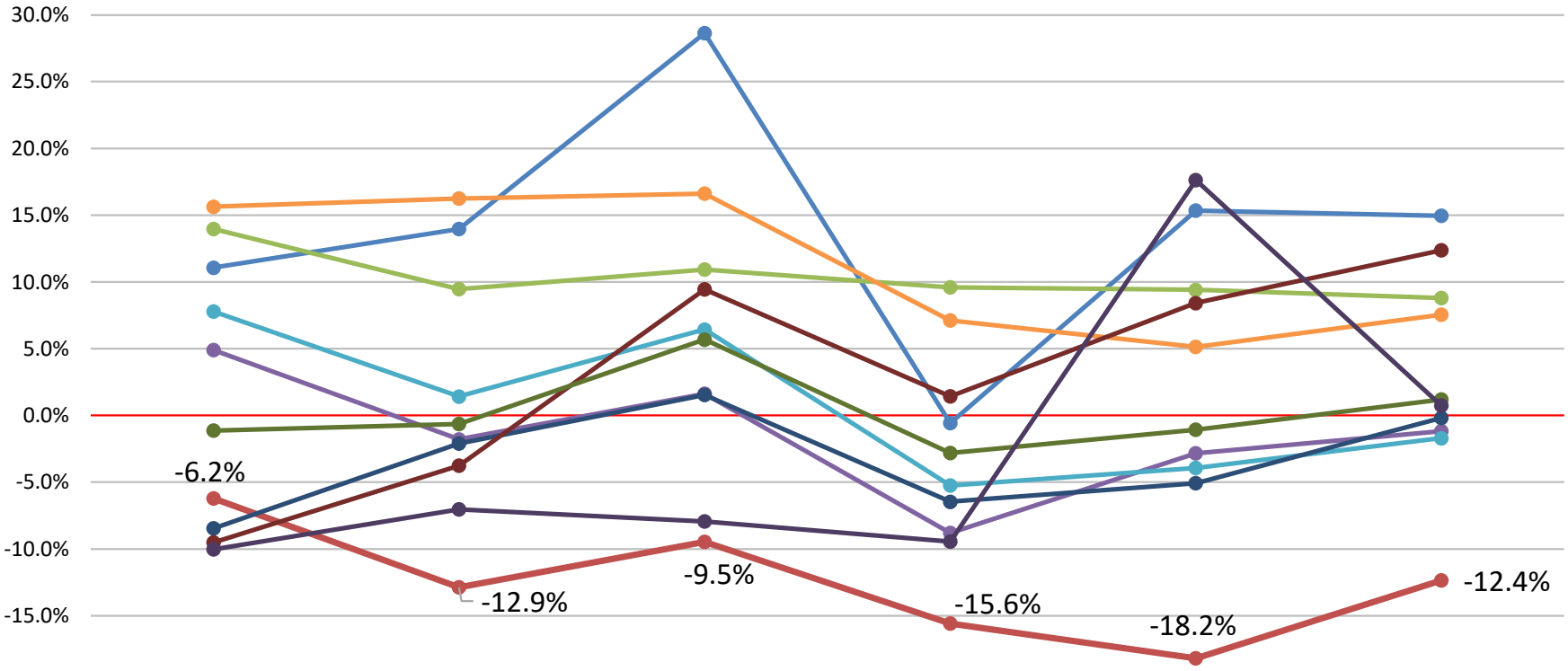
2. 東北各県の日本人延べ宿泊者数

	日本人延べ宿泊者数（人泊）		
		対2019年同月比	対前年同月比
全国	43,130,940	3.6%	30.2%
東北6県※2	2,986,220	−12.4%	30.1%
青森県	309,040	6.5%	39.2%
岩手県	447,000	−10.0%	21.0%
宮城県	799,830	−6.7%	38.5%
秋田県	193,310	−18.3%	15.3%
山形県	361,970	−12.1%	20.7%
福島県	875,070	−21.5%	32.9%

※2　表1との差は端数処理のため。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」（令和5年3月分）に基づき東北運輸局が作成

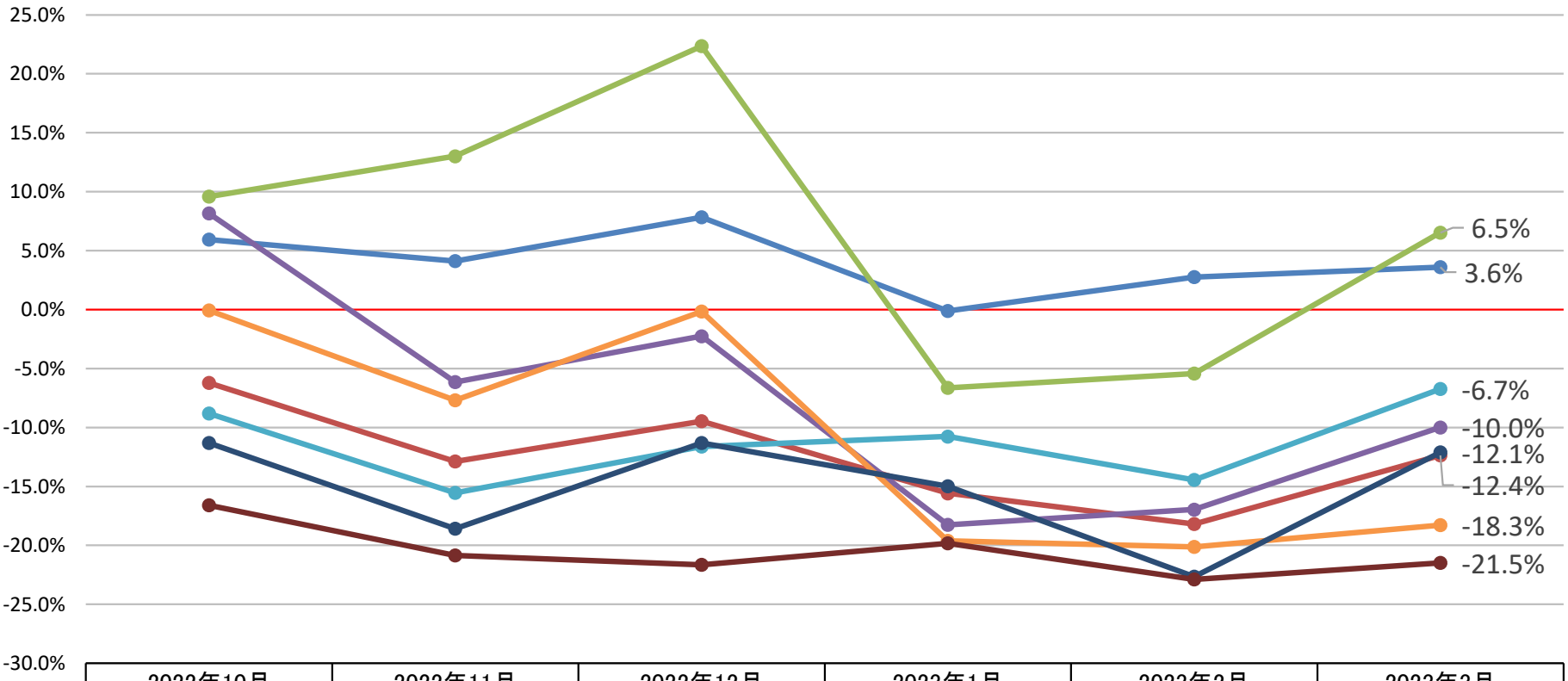
宿泊旅行統計　日本人宿泊者数　ブロック別回復状況の推移
（2019年比の増減率の推移、2022年10月～3月）



	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月
北海道運輸局	11.1%	14.0%	28.6%	−0.6%	15.3%	15.0%
東北運輸局	−6.2%	−12.9%	−9.5%	−15.6%	−18.2%	−12.4%
関東運輸局	14.0%	9.5%	10.9%	9.6%	9.4%	8.8%
北陸信越運輸局	4.9%	−1.8%	1.6%	−8.8%	−2.8%	−1.2%
中部運輸局	7.8%	1.4%	6.4%	−5.2%	−3.9%	−1.7%
近畿運輸局	15.6%	16.2%	16.6%	7.1%	5.1%	7.5%
中国運輸局	−8.4%	−2.1%	1.5%	−6.5%	−5.1%	−0.2%
四国運輸局	−9.5%	−3.8%	9.4%	1.4%	8.4%	12.4%
九州運輸局	−1.1%	−0.6%	5.7%	−2.8%	−1.1%	1.2%
沖縄総合事務局	−10.0%	−7.0%	−7.9%	−9.4%	17.6%	0.7%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき東北運輸局が作成

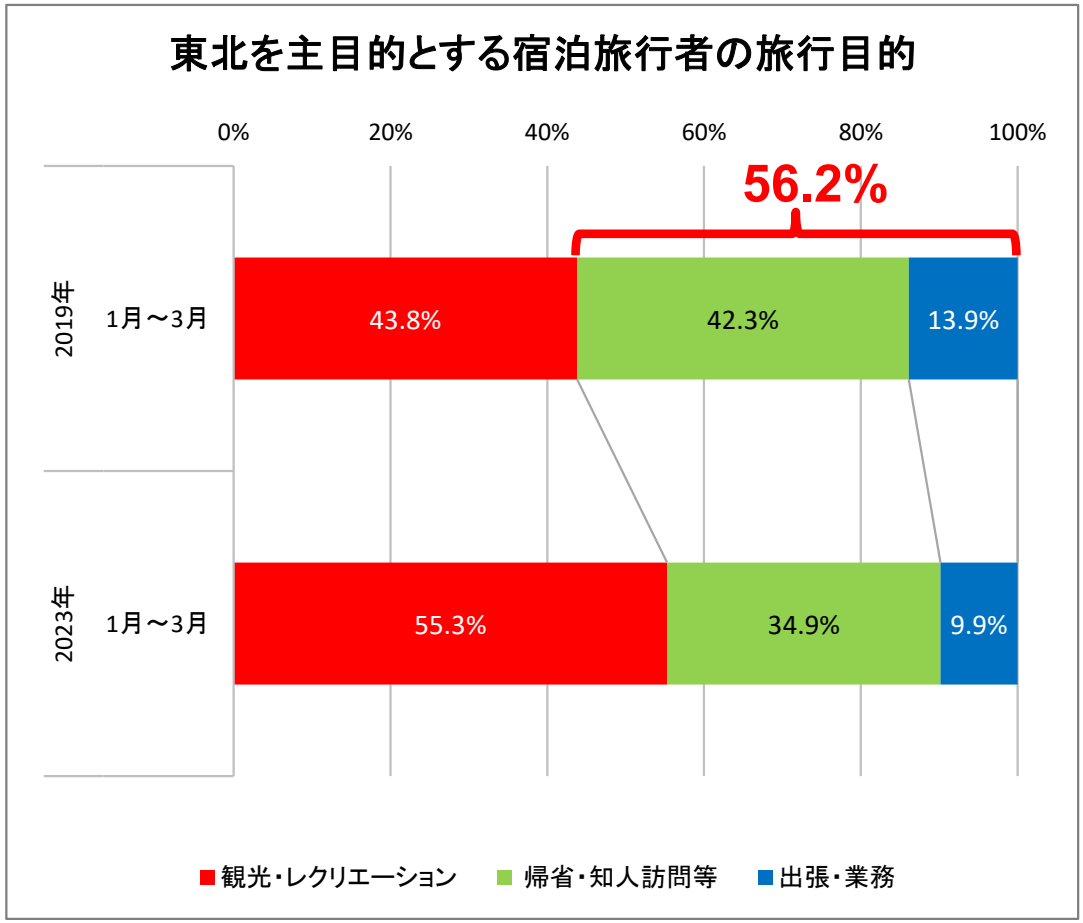
宿泊旅行統計　日本人宿泊者数　東北各県の回復状況の推移
（2019年比の増減率の推移、2022年10月～3月）



	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月
全国	5.9%	4.1%	7.8%	−0.1%	2.8%	3.6%
東北6県	−6.2%	−12.9%	−9.5%	−15.6%	−18.2%	−12.4%
青森県	9.6%	13.0%	22.4%	−6.6%	−5.4%	6.5%
岩手県	8.2%	−6.1%	−2.3%	−18.3%	−17.0%	−10.0%
宮城県	−8.8%	−15.6%	−11.6%	−10.8%	−14.5%	−6.7%
秋田県	−0.1%	−7.7%	−0.2%	−19.6%	−20.1%	−18.3%
山形県	−11.3%	−18.6%	−11.3%	−15.0%	−22.7%	−12.1%
福島県	−16.6%	−20.8%	−21.7%	−19.8%	−22.9%	−21.5%

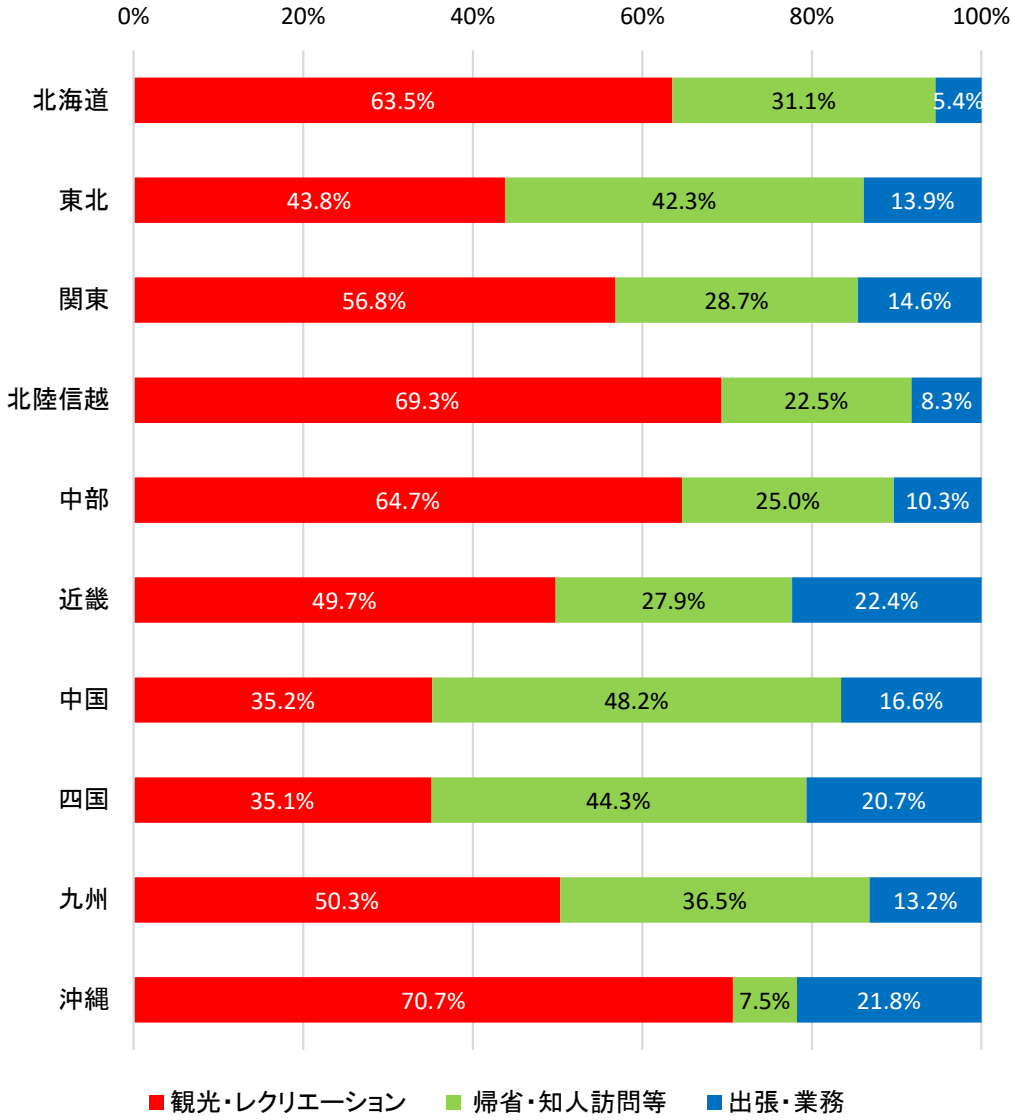
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき東北運輸局が作成

東北を主目的地とする宿泊旅行者の旅行目的



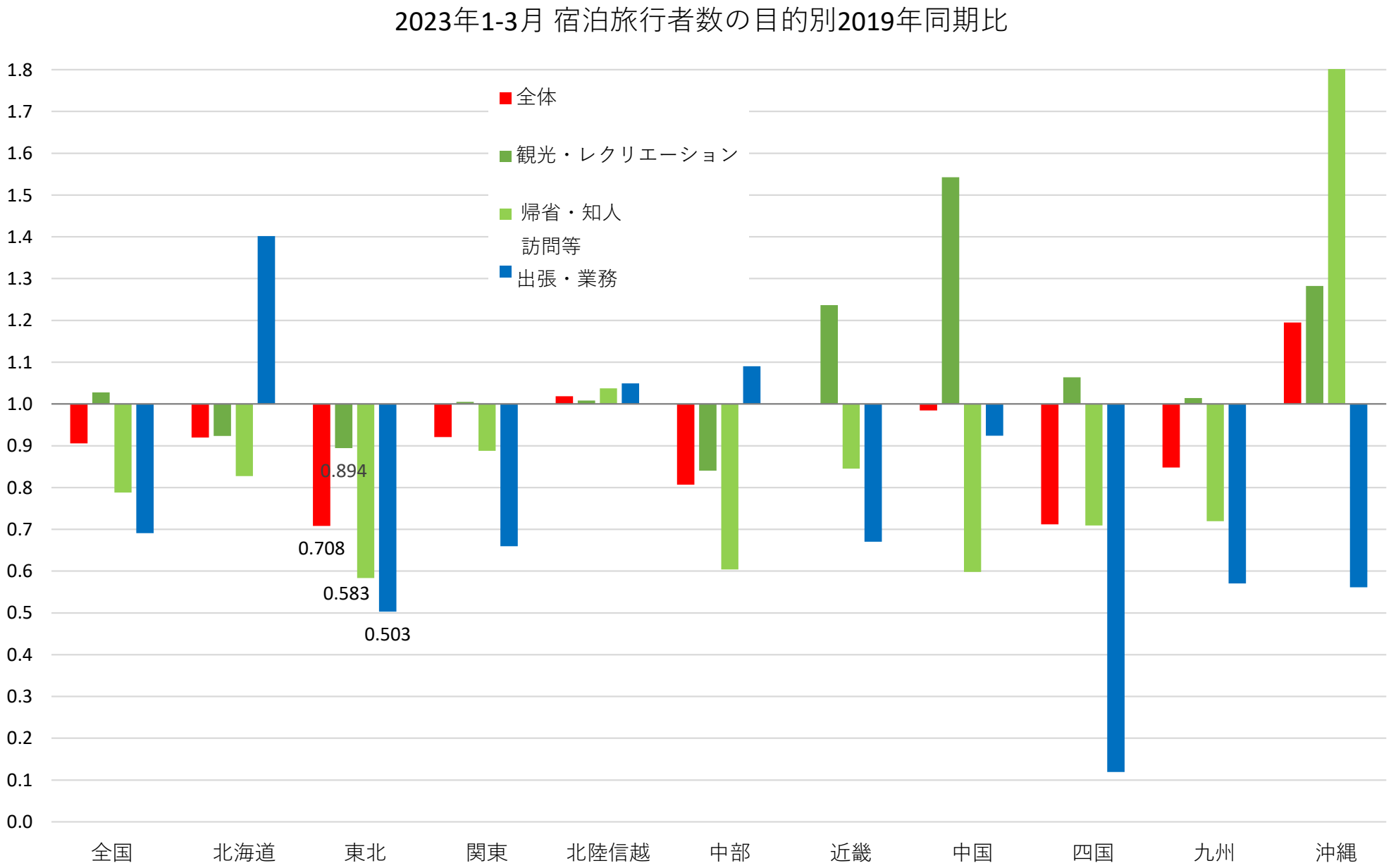
（観光庁「旅行・観光消費動向調査」
2023年1月～3月期と2019年1～3月期を比較）

各主目的地への宿泊旅行の旅行目的（2019年）



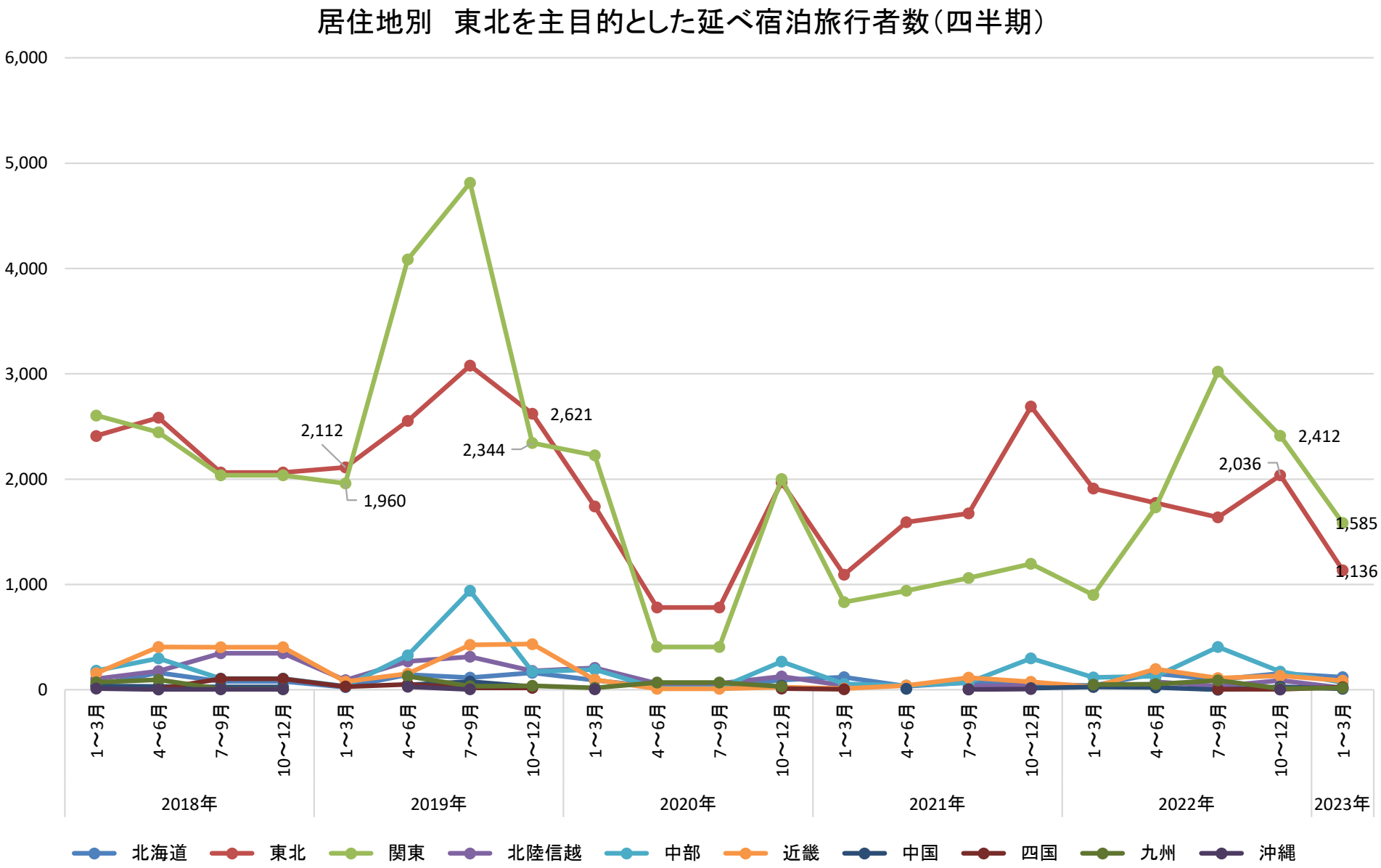
（観光庁「旅行・観光消費動向調査」2019年1～3月期に基づき東北運輸局が作成）

東北を主目的とする宿泊旅行者の旅行目的



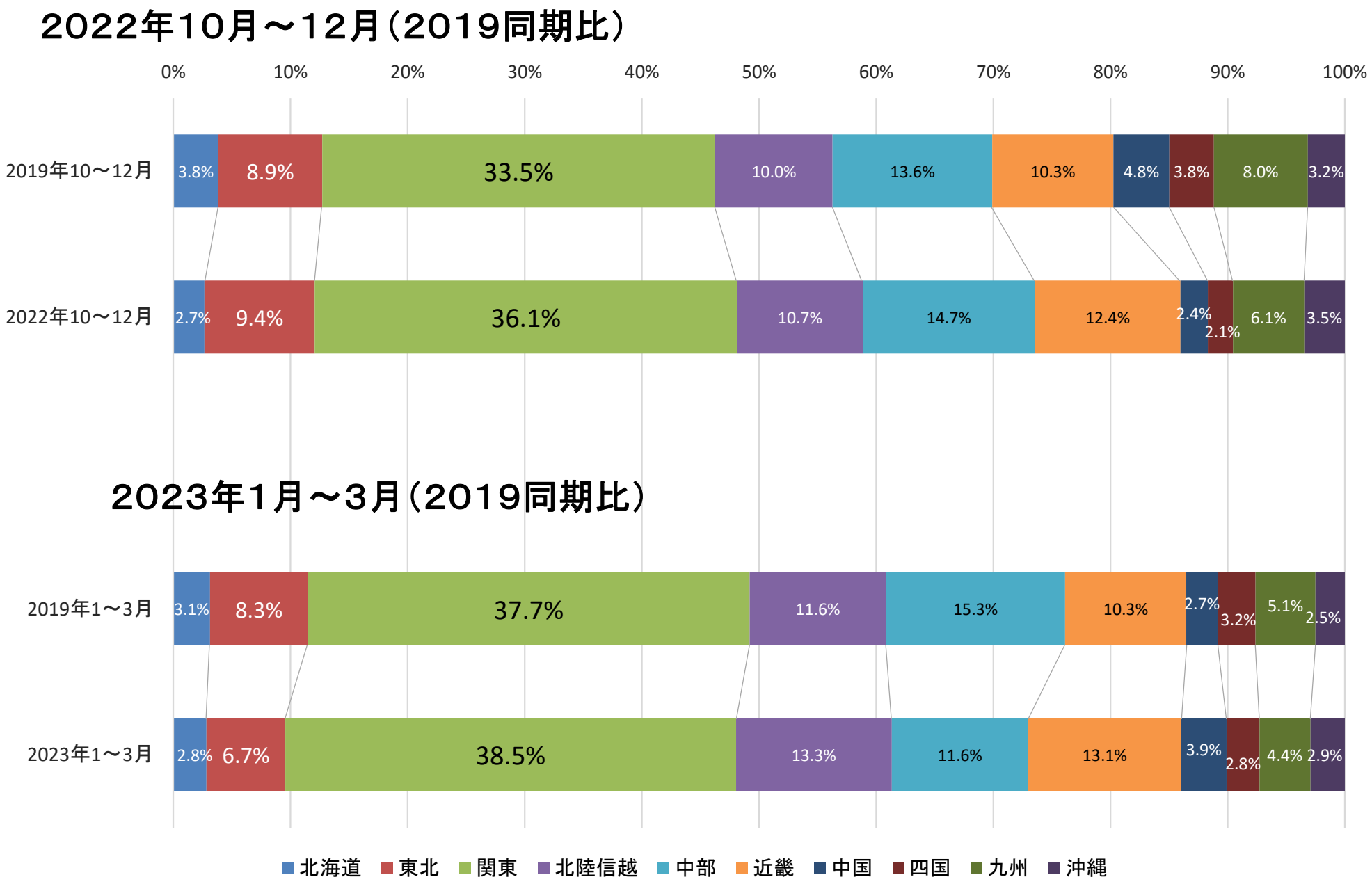
（観光庁「旅行・観光消費動向調査」2023年1月～3月期と2019年1～3月期を比較）

東北を訪れた旅行者の居住地



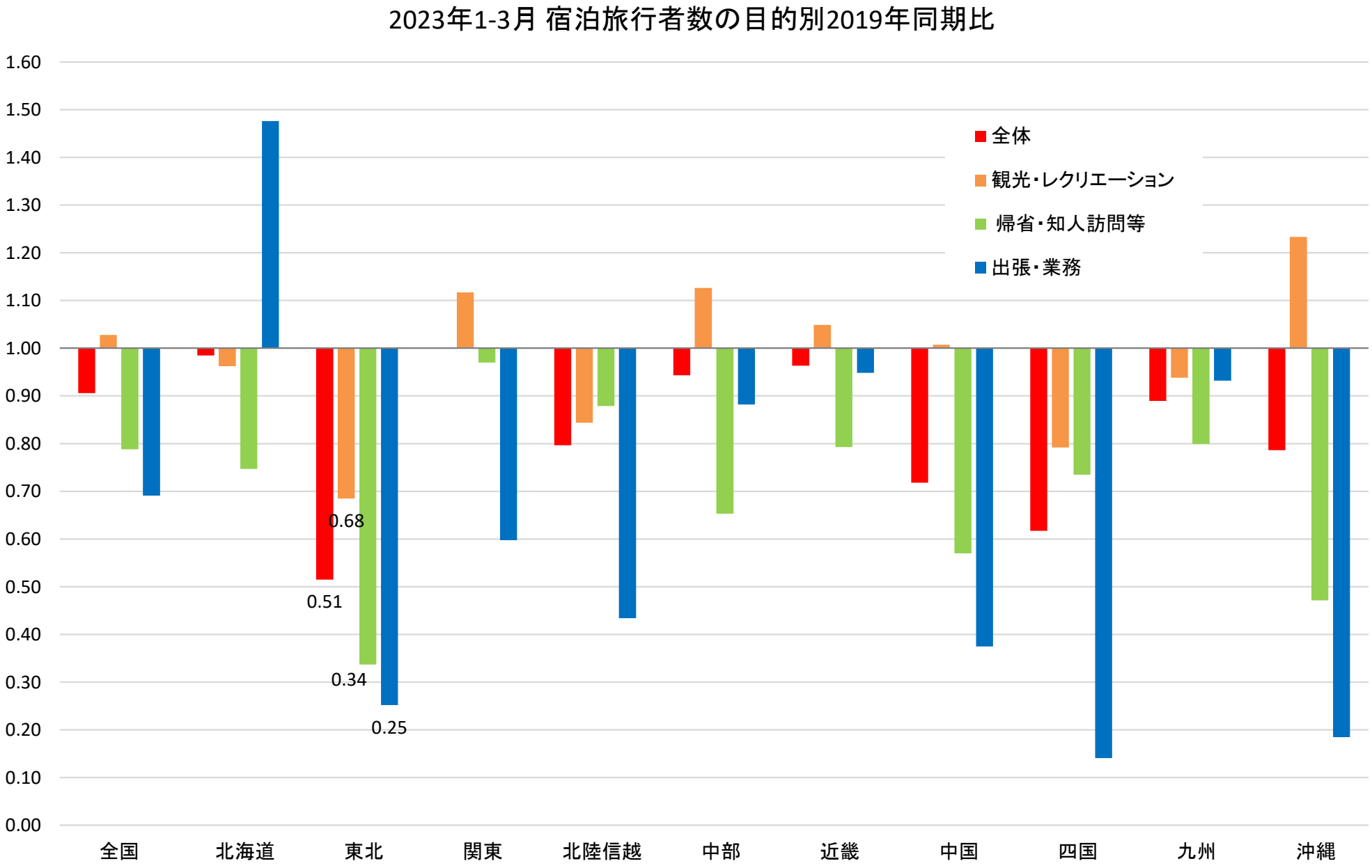
出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」に基づき東北運輸局が作成

関東地方居住者の訪問主目的地の割合の推移



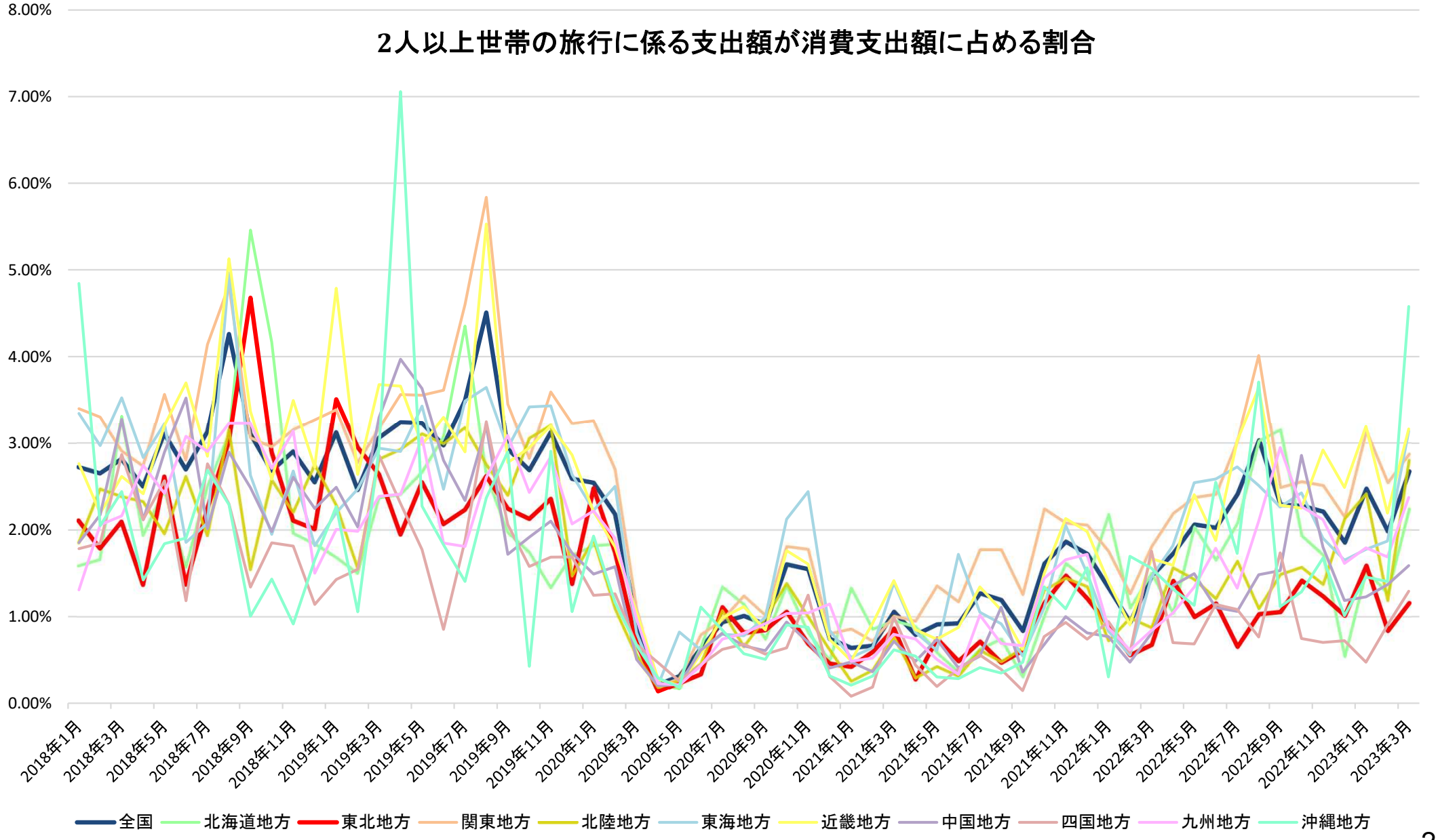
（観光庁「旅行・観光消費動向調査」）

旅行目的別宿泊旅行の回復状況（居住地別）



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」に基づき東北運輸局が作成

地域別の旅行支出の割合



出展：総務省「家計調査」を基に東北運輸局が作成